



新年あけましておめでとうございます。

今年は選挙の年。暮らしに希望を!政治を変えるチャンスです。精一杯、頑張ります。皆さんのお力添えをお願いします。

写真: 1月6日、堀の内地区で新年の挨拶

～今年の抱負～

- ・最近、メタボ気味、体を動かし65Kg目標にしたい。
- ・短歌の勉強をしたい。

1. 地域交流センターの工期遅れ

1月10日に議会協議会が開かれ、町から3点(地域交流センターの工期の遅れ、緑地公園の「あずまや建設」「日本アルプス国際学院」)の説明があり、論議をしました。その概要は次の通りです。

町から地域交流センターの完成時期が予定の3月15日から7月末となり、4か月遅れとなる見通しとの報告がありました。

I 工期遅れの原因

① 入札が不調になり、工事開始が2か月遅れた。

② 下水道管・電柱の移設が遅れた。

③ 工事の遅れにより職人が手配できず、本体鉄筋コンクリート工事が遅れた。

II 議会の意見

○当初2か月遅れと聞いていた。町は4か月の工事遅れの責任をどうとるのか。
○議会への工事遅れの報告が遅い。早くできたのでは。
《町》再三、工事工程表を出すよう設計監理

者に依頼した。しかし、工程表の確定が昨年の12月25日となり、今回の報告となった。

III 議会と町の合意

○工事遅れは設計監理者によるところが大きい。町から設計監理者に責任のとりようを求める。
○町は町民に工事が遅れた理由を公報など知らせる。

IV その他

○工期の遅れにより交流センター・図書館のオープンはそれぞれ8月末、11月中旬となる見込み。

2. 緑地公園整備事業での「あずまや」建設について

I 町から議会への諮問

○社会資本総合整備事業の緑地公園整備事業(予算額…5500万円)は工夫により、4914万円ですむ見込みである。町民から要望のある「あずまや」の建設費は450万円で、予算残額(586万円)

で建設できる。建設の可否を議会で決める欲しい。

II 議会での論議と採決結果

【残額予算での「あずまや」建設に賛成】4議員【主な意見】
○親子が緑地公園で遊ぶには、「あずまや」は必要である。予算残額を使っても建設すべきである。(私もこの事を主張)

【残額予算での「あずまや」建設に不賛成】5議員【主な意見】
○町民が利用する公園にするには、町民参加で公園づくりを行う事が必要である。「あずまや」は池工事に依頼するなど別予算で、町民参加で建設すべきである。
○予算は予算として区切りをつけるべきである。

《私の思い》

残念な結果となりました。今回の緑地公園整備事業予算には当初から遊具設置は入っていません。町なかにも親子で遊べる遊具公園は必要です。今後も皆さんと共に求めて行きます。

3. 学校法人「日本アルプス国際学院」について

昨年12月25日に県から認可された学校法人「日本アルプス国際学院」について、町の考えを聞き、論議しました。その概要は次のとおりです。

議会…旧福祉会館・県養護学校宿舍の改修について、町の考えは。

町…建物本体に係る部分(壁など)の改修は貸主の責任で実施しなければならないと考えている。しかし、改修費の上限については検討が必要と考えている。

薄井…町は、学院運営費についての補助を考えているか。
町…今の段階では考えていない。

薄井…町が学院の運営費まで出すことになる町財政に支障をきたす恐れがある。町は運営費補助をすべきでない。

